

実施日：2024年10月16日

10月研究テーマ：集団に入りにくい子どもの心の理解と支援の理解を深める



10月研究会の達成目標：応用行動分析の基礎知識をもとに、事例検討を行い学校の一教員として、学校組織としてどのようなことが行えるのかを考察する。

活動内容

集団に入りにくい子どもの心の理解と支援

心身症や不安症状など様々あるが、まずは話を聞くこと。要望を聞くという意味や、診断や分類することではなく、本人に興味を持ち、情報を得ること。

身体表現性障害は頭痛や起立性調節障害や過敏性調節症候群、視覚障害、聴覚障害など心因性のものである。不安症状に対しては、

・不安の対象を具体的にすることにより、対策も具体的にできる。

・レジリエンス（困難さを乗り越える力）を育むチャンスととらえるなど、念頭に置き、個性の一つと考え、本人自身がどう乗り越えていくのかが本人の成長であることを伝え応援していく姿勢が肝要であることを学んだ。

今後の活動 講演内容予定

次回：11/6（水）講演会

15:00～ 克明小学校 かがやき校舎 2F 音楽室

『生活保護を含む生活困窮家庭に対し、精神的にどう支えていくか、子どもや親のメンタルヘルスを支えるとは。』

講師：福祉事務所 医療介護係 上田 勲さん

12月 「少年鑑別所から見た子どもの姿」

1月 「児童心理：年度のまとめ」

2月 「事例検討」

などを予定しています